

## 1 アシクロビル顆粒

2 溶出性 (6.10) 試験液に水900 mLを用い、パドル法により、  
3 毎分50回転で試験を行うとき、本品の30分間の溶出率は  
4 85 %以上である。

5 本品のアシクロビル( $C_8H_{11}N_5O_3$ )約0.4 gに対応する量を精  
6 密に量り、試験を開始し、規定された時間に溶出液20 mL以  
7 上をとり、孔径0.45  $\mu\text{m}$ 以下のメンブランフィルターでろ過  
8 する。初めのろ液10 mLを除き、次のろ液2 mLを正確に量  
9 り、水を加えて正確に100 mLとし、試料溶液とする。別に  
10 アシクロビル標準品(別途「アシクロビル」と同様の方法で  
11 水分 (2.48) を測定しておく)約22 mgを精密に量り、水に溶  
12 かし、正確に100 mLとする。この液4 mLを正確に量り、水  
13 を加えて正確に100 mLとし、標準溶液とする。試料溶液及  
14 び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法 (2.24) により試  
15 験を行い、波長252 nmにおける吸光度 $A_T$ 及び $A_S$ を測定する。

16 アシクロビル( $C_8H_{11}N_5O_3$ )の表示量に対する溶出率(%)  
17 
$$= M_S / M_T \times A_T / A_S \times 1 / C \times 1800$$

18  $M_S$ : 脱水物に換算したアシクロビル標準品の秤取量(mg)

19  $M_T$ : 本品の秤取量(g)

20  $C$ : 1 g中のアシクロビル( $C_8H_{11}N_5O_3$ )の表示量(mg)

21

22